

JOMF 派遣医師便り (2019.3)

◆マニラ◆

麻疹流行、フィリピン

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

フィリピンでは麻疹が流行しています。

皆さんは最近1か月の間にフィリピン国内でどのくらいの麻疹患者さんが報告されたと思いますか？ 500人？ 700人？ 1,000人？（答えは下段をご覧ください）

フィリピン厚生省は2019年1月1日から2月9日までの40日間に4,302人が麻疹を発症し、70人が死亡したと報告しました（マニラ首都圏では1,296人発症、18人死亡）。死亡者の多くは子どもで、70人のうち55人は麻疹ワクチンを接種していなかったそうです。（2018年の同期間では、麻疹患者数1,935人、死亡18人）

当診療所でも麻疹だけでなく、風疹、水痘、インフルエンザ、そしてデング熱、アメーバ赤痢、肺結核などの患者さんが年間を通して受診しています。途上国においては公衆衛生上の改善を国に全て求めることは困難です。日本から来比される皆さんもワクチン接種や行動面での対応など個人で対応可能な準備や努力をしていただくことが大切です。

2019年3月12日記